

呉錦堂を語る会通信

NO.41 Apr. 2018

発行 兵庫県明石市北朝霧丘2-8-34
橋 雄三 方「呉錦堂を語る会」
Tel. 078-911-1671
編集 「呉錦堂を語る会通信」編集委員
発行日 2018.4.1



呉錦堂、中国浙江省温州市近郊で鉱山を経営

呉錦堂は浙江省温州市近郊の青田県で鉱山経営を行いました。

この時の鉱山、並びに家屋敷の売買契約書ほか、20通ほどの古文書が呉家に残っております。このうちの1通をとりあげ、その様式を中心に概略を記述いたします。
(編集委員 橋 雄三)

《1. “青田県”とはどんなところ?》

今回取り上げた契約書記載の鉱山所在地、「青田」は、中国浙江省麗水市青田県（1963年5月までは温州市）のことで、篆刻に使用する石材（印材）、青田石（下の画像参照）の産地として有名です。

古く、青田県人の海外での活躍は、青田県特産の青田石の彫刻を海外で売り歩くことから始まりましたが、清朝末には、福建省福清市などと並び、中国有数の僑郷（華僑の故郷）となっていました。

以上のことから、呉錦堂が青田県で経営しようとした

鉱山も青田石採掘が目的であったと推察できます。

なお、青田県については、山下

清海氏ほかによる、『2011年度日本地理学会春季学術大会』での発表、「浙江省温州市近郊、青田県の僑郷としての変容」の抄録が参考になります。

《2. 契約書の名義人、呉啓鼎と呉芑汀》

今回調査した鉱山の売買契約書12通の買取人名義は、6通が呉啓鼎で、6通が呉芑汀となりました。

呉啓鼎は、呉錦堂の甥（弟の子）です。啓鼎が呉錦堂の援助で、上海のセント・ジョーンズ大学に学び、さらに、アメリカへ留学したことについては、当通信第37号でも触れました。山口政子「在神華僑 呉錦堂（1854-1926）について」（1983年）によると、呉啓鼎はその後、浙江財政庁の上海税務署長になっています。

それでは、もう6通の名義人、「呉芑汀」とは

誰でしょうか。呉家所蔵の文書に含まれているのですから、呉錦堂の縁者でしょう。これについても、上掲山口論文に付された呉氏系譜にヒントがあり

ます。系譜には「啓鼎（巴汀）」と記載されています。つまり、啓鼎は「巴汀」とも称していたということです。ただ、「巴汀」と「芑汀」は似ていますが同じではありません。また、この記載の根拠について、山口氏はふれておられません。

普通話の発音は、「啓鼎」は qi ding で、「芑汀」は qi ting です。もちろん、呉錦堂の時代の寧波付近の発音と今の普通話の発音は違うでしょうし、これらのことをもって、呉啓鼎と呉芑汀が同一人物とするには今後なお考証が必要です。

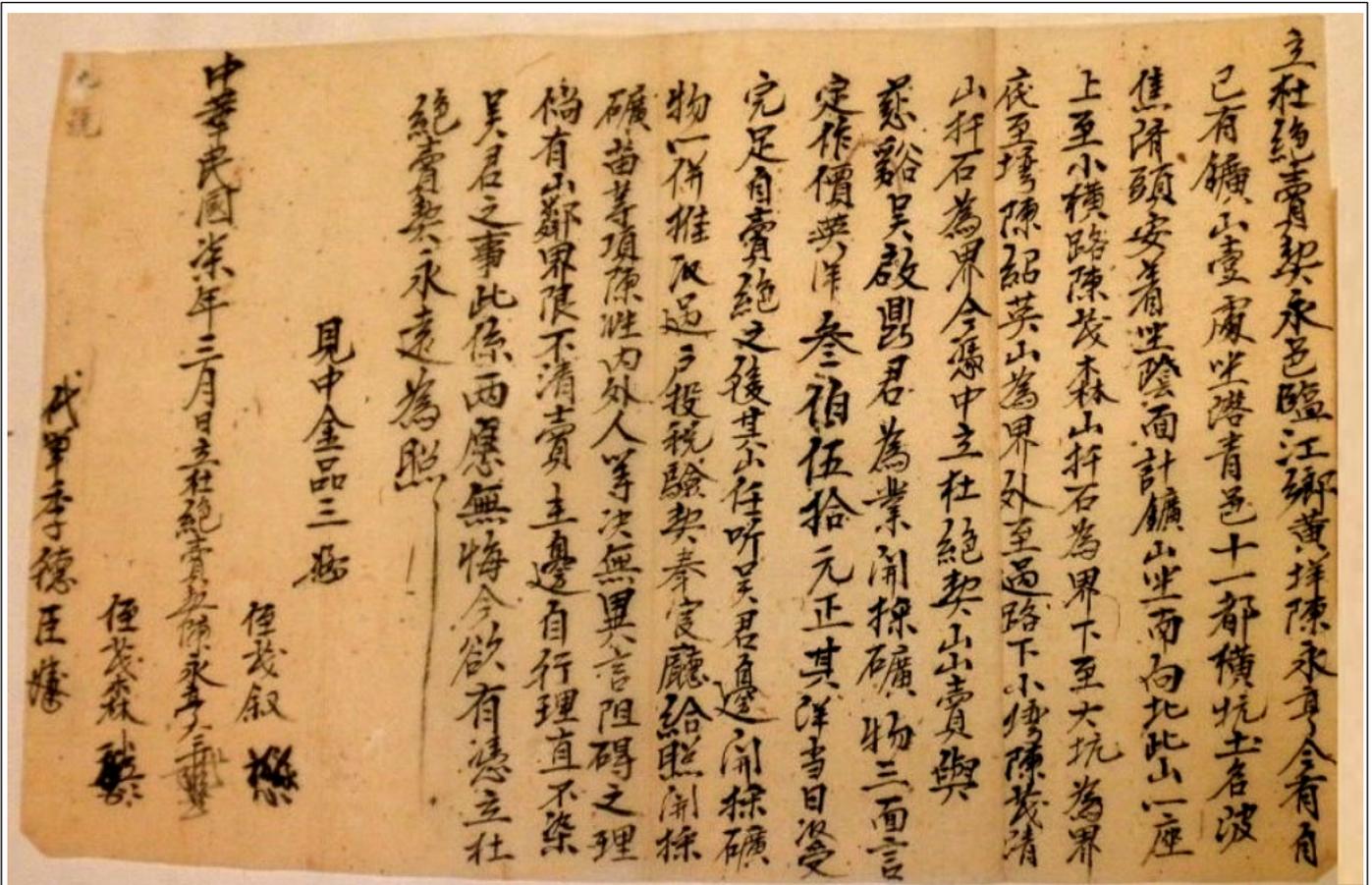
ここでは、契約書の名義人の半数が呉啓鼎で半数が呉芑汀である、とするにとどめます。



現在の青田県市街地 (wikipediaより転載)

呉錦堂、鉱山経営の原資料

本頁では、呉家所蔵の売買契約書1通を取りあげ、その様式を説明いたします。なお、契約書には、「第九號契陳永亨青田十一都横坑土名芭蕉濟頭坐陰面絶賣契一紙計洋参百五拾元」と記された付箋が付いています。



一、契約の類別

当文書は「立杜絶賣契」という文言で始まっています。これは、「杜絶賣契」と言われるもので、一旦成立すると、買い戻しができません。

最後にもう一度、「此係兩愿無悔今欲有憑立杜絶賣契永遠爲照」と確認し、本文は終ります。

二、立契約人(売渡人)

文言、「立杜絶賣契」のすぐ後に出てくる人名が立契約人です。人名の前に、上掲例のように、住所の記載がある場合も多い。

三、対象物件

対象物件が、山や田畑の場合、その所在地と四至、つまり、東西南北等の境界が列挙されます。

四、買受人

続いて、「憑中立杜絶契出賣與(仲介人を立て、誰それと、買戻しを認めない契約を結ぶ)」という文言の後に買受人の名が記載されます。

上掲例では、「慈谿吳啓鼎君」となっています。

五、価格

通常、「三面言定」という決まり文言で始まり、続いて価格が記載されます。「三面言定」は、「売渡人、仲介人、買受人の三者が合議の上、次の価格に決まった」という意味です。

そして、上掲例では、「価格墨銀三百五十元、本日、全額を受領した」と続きます。

六、付帯事項

そのあと、「過戸」(名義書き換え、譲渡)及びその際の納税のこと、ほか、付帯事項が続きます。

七、仲介人、保証人

契約書本文のあとに、「見中」あるいは「憑中」として、通常、数人の署名と花押が連なります。これらは、仲介人、保証人のことです。

八、立契約人の署名、花押

契約年月日に続けて、一人、あるいは数名の立契約人(売渡人)が署名し、花押が添えられます。

なお、上掲例の「中華民國柒年」の「柒」は、七の大字です。つまり、一九一八年です。